

報告事項ク

県内文化財建造物の新規国登録について

県内文化財建造物の新規国登録について、別紙のとおり報告します。

平成28年11月21日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

県内文化財建造物の新規国登録について

平成28年11月21日
文化財課

平成28年11月18日（金）、国の文化審議会（会長 馬淵明子 国立西洋美術館館長）は、下記の建造物を国登録文化財へ登録するよう文部科学大臣に答申しました。

記

1 名称

さいおけじゅうたく しゅおく みなみぐら どぞう しょうゆぐら すみごやおよびみそぐら よくしつ ながやもんおよびへい
齋尾家住宅 主屋、南蔵、土蔵、醤油蔵、炭小屋及び味噌蔵、浴室、長屋門及び塀、
ろじもんおよびへい
露地門及び塀 … 8件

※今回、北栄町初の国の登録文化財（建造物）となる。

2 所在地

東伯郡北栄町国坂

3 特徴等

特 徴	建築年代
<p>齋尾家は江戸時代には大庄屋を務めた家柄で、当家は茶臼山の北東に敷地を構える。敷地内には主屋のほか、長屋門や土蔵など敷地全体にわたって明治から昭和初期に建てられた建物が保存状態良く残されている。</p> <p>「主屋」は、豪壮な木造二階建ての建築で、内部は、それまで一般的であった農作業重視でつくられた広い土間ではなく、狭い土間の玄関とし、上客用の玄関である式台玄関（しきだいげんかん）を並べる。また、客用の空間と家族用の空間を中廊下で隔てて各部屋の独立性を高めており、江戸時代からの伝統的な農家の住宅の間取りを継承しながらも、近代住宅の要素を取り入れている県内では初期の事例といえる。</p> <p>一階の主座敷では、構造に工夫を凝らして縁側の柱を極力排して解放感を高めており、また、二階には、木目の特徴的な素木（しらき）を用いたシロキノマ、漆を多用したクロキノマと呼ばれる2種類の座敷をもつ。</p> <p>「長屋門及び塀」は南北へ続く塀とともに、当家の大規模な屋敷構えの正面にふさわしい豪壮な外観を見せるほか、「醤油蔵」「味噌蔵」などは大規模農家の生活形態を知ることができる。</p> <p>また、同家には普請帳（ふしんちょう：建物等を建てた時の記録）が残されており、建築の年代や大工名等を知ることができ、年代等建築の経緯がわかる点でも貴重である。</p>	<p>主屋:大正2年</p> <p>南蔵:明治後期</p> <p>土蔵:明治中期</p> <p>醤油蔵:大正初期</p> <p>炭小屋及び味噌蔵:明治中期</p> <p>浴室:昭和初期</p> <p>長屋門及び塀:大正5年</p> <p>露地門及び塀:大正4年</p>



4 文化財の写真



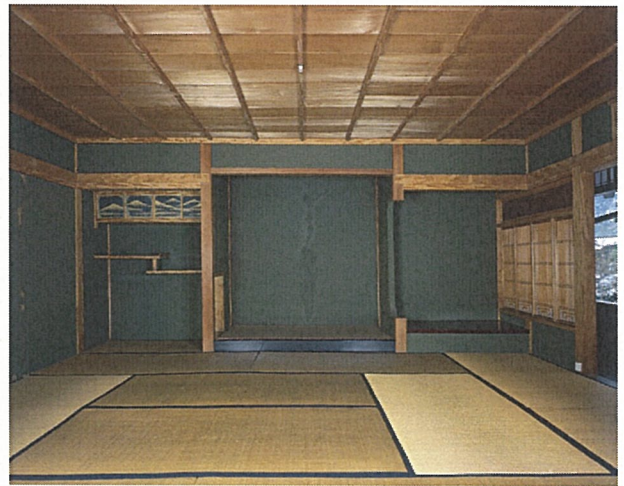
1. 齋尾家住宅 外観



2. 主屋外観と庭門及び塀



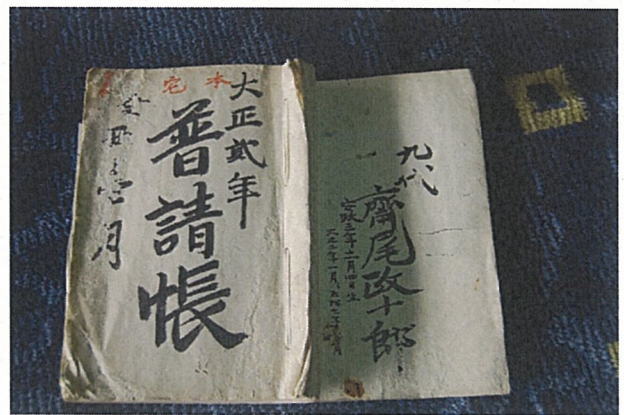
3. 主屋二階 クロキノマ



4. 主屋二階 シロキノマ



5. 主屋一階座敷 縁部分



6. 齋尾家住宅 普請帳